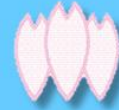


佐賀地本 ニュース



平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集

第24号 令和3年10月4日発行

発行所

自衛隊佐賀地方協力本部 募集課広報室

電話 0952-24-2291



1010

佐賀地本“てん”(10市)“てん”(10町)
プロジェクト

令和3年度8月の大雨に 係る災害派遣



県職員と災害状況の把握



佐賀県庁において担任部隊との引き
継ぎを行う部員(左:宮本事務官)



嬉野市役所(写真右:俵野1曹)



多久市役所(写真左:黒岩1曹)



武雄市役所(写真左:立川2曹)



有田町役場(写真左:杉2曹)

自衛隊佐賀地方協力本部(本部長 古賀1等陸佐)は、「てんてんプロジェクト」と称して、県内4カ所にある募集事務所等の各広報員と、佐賀県内の10市10町の各自治体防災担当者と日頃から連携を図っており、佐賀県内に大雨警報等が発令された際、県庁をはじめ、各市町に募集事務所等の広報員を災害連絡要員として派遣する態勢を保持している。

令和3年8月の北部九州での前線の影響に伴う大雨により、13日早朝に佐賀県庁に災害警戒本部が設置され、本部から連絡要員を派遣するとともに、14日の未明に大雨特別警報が発令された際には佐賀市をはじめ9コ市町に広報員を派遣し、佐賀県の災害隊区担任部隊である西部方面混成団(福岡県久留米市所在)の連絡要員が到着するまでの間、情報連絡態勢の確立及び被害状況等の収集を実施した。

各自治体からは、「真っ先に迷彩服姿で来てくれて安心する。」「コロナ禍の状況にもかかわらず災害任務に従事する部隊、隊員に心から感謝したい。」「等の声をいただいている。

佐賀地方協力本部は、引き続き自治体、災害隊区部隊等と日頃から「顔の見える」関係を保持し連携の強化により更に災害対処能力の向上に努めていきたい。

援護課

令和3年度佐賀県自衛隊 合同企業説明会を開催

自衛隊佐賀地方協力本部(本部長 古賀1等陸佐)は、7月27日(火)、自衛隊援護協会福岡支部との共催により、佐賀市にあるガーデンテラス佐賀ホテル&マリトピアにおいて令和3年度佐賀県自衛隊合同企業説明会を開催した。

本説明会には、佐賀県内56社の企業に参加していただき、就職を希望する自衛隊員に対して個別に各企業の特色を活かした説明(面談)を実施していただいた。

参加した自衛隊員は、各企業の説明を真剣な面持ちで熱心に聞いていた。また、「実際に企業の方から話が聞けて良かった。」「色々な企業があることを知る良い機会になった。」「との意見があり、再就職準備に向けた意識を高めてもらうことができた。

佐賀地方協力本部は、今後も継続して退職予定隊員の再就職に向けた就職の援助に努めていきたい。



合同企業説明会会場全景



参加隊員に対する企業からの説明

令和3年度前期表彰

第四級賞状（職務遂行）

佐賀募集案内所

佐賀地域援護センター

第五級賞状（職務遂行）

鳥栖地域事務所

第三級賞状（職務遂行）

佐賀募集案内所

一等陸曹
久家

司

第四級賞状（職務遂行）

佐賀募集案内所

一等陸曹
保楊枝

寛和

鳥栖地域事務所

二等陸曹
野中

隆也

第五級賞状（職務遂行）

鳥栖地域事務所

一等海曹
小川

孝広

武雄地域事務所

二等海曹
杉

正樹

募集課

二等陸曹
川上

真紀子

佐賀募集案内所

二等海曹
山口

恭寛

総務課

二等陸曹
永江

茂

募集課

二等海曹
釘崎

理

人事往来

転入者（令和3年8月1日付）



増永陸曹長（水陸機動団（長崎：相浦駐屯地）から（写真：左））
宮崎2等陸曹（第16普通科連隊（長崎：大村駐屯地）から（写真右））



本部長歓迎の言葉

祝 定年退官

令和3年7月11日付

准陸尉

山口 博之

令和3年8月3日付

2等陸曹

梅山 浩志



万歳三唱



部員の見送り



顕彰状の授与



部員の見送り（総務課長と握手）



笑顔で最後の官用車



顕彰状の授与



ホームページ



ツイッター



Instagram



とある防衛事務官の一日

自衛隊佐賀地方協力本部



河合曹長は

トヨタコーポレーション株式会社



生活体験in自達原駐屯地

自衛隊佐賀地方協力本部



自衛隊佐賀地方協力本部

出陣式

令和3年4月8日



第113教育隊

佐賀県出身隊員紹介

自衛隊佐賀地方協力本部



YouTube

自衛隊佐賀地方協力本部のユーチューブチャンネルを開設しました。視聴者皆様の興味が持てるような内容を配信していく予定です。
是非、チャンネル登録よろしくお願いします。
ユーチューブのチャンネル登録は左下のQRコードから！

SAGA PCO
Ground Maritime Air Self-Defense Force



YouTube 配信開始

唐津所

FMからラジオ放送にて 広報活動を実施

唐津出張所（所長 竹村2等空尉）は、令和3年8月3日（火）及び24日（火）に地域ラジオ「FMからつ（86・8MHz）」の毎週火曜日に放送される「タチャンス」に出演し、広報活動を行った。

「FMからつ」放送局の代表取締役社長が、唐津地区防衛協会理事の森田氏で防衛通でもあり、自衛隊に対する理解も深く、ラジオ放送における広報活動に協力していただいている。

今回は、佐賀地方協力本部に臨時勤務中の富岡一等陸士（小郡駐屯地）と山本一等海士（護衛艦「こんごう」）が出演し、自衛官等採用試験の案内とともに、日頃の活動内容や自衛隊の魅力を自身の経験談を交えながら発信した。

唐津出張所は、「自衛隊の理解促進のため、継続して「FMからつ」のラジオ放送に出演させていただき、広報活動を実施していく。」としている。



本番前、空気の張りつめたブース



8/24(火)放送（写真中央：富岡1士）

鳥栖所

青少年広報（生活体験） 参加者支援

鳥栖地域事務所（所長 小山3等陸佐）は、8月6日（金）、海上自衛隊佐世保総監部が主催した青少年広報（生活体験）における参加者3名の支援を実施した。

参加者は、今年度の採用試験の志願者であり、全員が海上自衛隊希望で、本研修参加を大変楽しみにされていた。

広報内容は、基地の概要説明、艦艇見学、資料館見学、体験喫食及び警備犬による警備体験と大変充実した内容であり、参加者から「護衛艦乗員の姿が凛々しかった。」「カレーが想像以上に美味しかった。」「憧れていた護衛艦の装備を見学でき益々、海上自衛隊に入隊したくなった。」「等の受験に前向きなコメントをいただいた。

鳥栖地域事務所は、「今後も各種対象者等支援を通じ積極的に募集広報活動を実施していく。」としている。



護衛艦「きりさめ」をバックに集合写真



主砲の前で記念写真

武雄所

職業講話を実施

武雄地域事務所（所長 笠原2等空尉）は、8月27日（金）、武雄市立川登中学校において職業講話を実施した。

この職業講話は例年実施されている職場体験学習が、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止になったことによる代替行事として行われたものであり、3年生を対象に自衛隊の仕事内容の説明を行った。

今回は、佐賀地方協力本部に臨時勤務中の永吉陸士長（湯布院駐屯地）、増田1等陸士（目達原駐屯地）の部隊での体験談に熱心に聞きたいとともに、説明後に実施した車両見学においては、運転席や後部座席に乗り込んだり質問をする等いずれも興味深々様子であった。

武雄地域事務所は、「今後も職業講話等を通じて一人でも多くの中学生に自衛隊への興味を持つてもらえるような募集広報を継続し、将来の自衛官確保に繋げていきたい。」としている。



まずは自己紹介から（中央：永吉陸士長・右：増田1等陸士）



永吉陸士長の体験談に耳を傾ける生徒たち

援護課

令和3年度第2回予備自衛官 1日招集訓練を実施

自衛隊佐賀地方協力本部（本部長 古賀1等陸佐）は、7月18日（日）、本部会議室において令和3年度第2回予備自衛官1日間招集訓練を実施した。

今回は、新たに予備自衛官として採用になった16名を対象に、新型コロナウイルス感染防止策を講じて実施した。

担任官である本部長は訓示において、予備自衛官としての使命感の醸成を図るとともに、招集訓練出頭の際の不安を払拭させ、所定の招集訓練への出頭を促した。

自衛隊を退職して1年未満で予備自衛官に採用された場合、初年度の出頭は地方協力本部で実施する1日間訓練のみとなるが、これは新しい仕事や新しい職場環境に慣れる時間を十分に取ること、翌年度以降の5日間招集訓練出頭に向けて準備ができるように配慮されたものであるとの説明を受け、本訓練に参加した予備自衛官は緊張した面持ちながらも真剣に耳を傾けていました。

佐賀地方協力本部は、今後も継続して予備自衛官等の志願者を募集していきたい。

募集課

募集対象者や高校教諭等に対し 部隊見学を支援

自衛隊佐賀地方協力本部（本部長 古賀1等陸佐）は、7月26日（月）～30日（金）の間、陸上自衛隊大村駐屯地、海上自衛隊佐世保基地及び航空自衛隊築城基地において、西部方面隊が企画した三自衛隊（陸海空）統一募集広報（パワーアドベンチャー）に参加し、募集対象者や高校教諭等に対して部隊見学を支援した。

本事業においては、陸海空の概要説明・装備品展示・体験試乗・護衛艦及び航空機研修・体験喫食等を部隊で見学・体験した。

各日とも天候にも恵まれ陸海空各部隊の積極的な支援により、参加者から「自衛隊に対し、今まで以上に興味がわいた。」「これまでの自衛隊の印象が変わった。」などの感想をいただいた。

本事業の参加により、自衛隊のイメージアップを図るとともに、自衛隊への理解を深めることができ、募集対象者への入隊意欲を振起させる見学となった。

佐賀地方協力本部として、今後とも募集に繋がる事業を企画していきたい。

佐賀所

金泉中学校1年生69名に対し 防災のノウハウを伝授

佐賀募集案内所（所長 井筒3等陸佐）は、令和3年7月15日（木）、金泉中学校からの依頼を受け1年生69名に対し防災教育を実施した。教育内容については、広報室長による防災講話、毛布等を活用した応急担架の作成要領及びロープワークについて佐賀地本本部及び佐賀募集案内所広報員で編成した精鋭部隊が、懇切丁寧にその技術を伝授した。

また、目達原駐屯地の支援を受け、部隊装備品である、野外炊事車や小型車両及び大型車両の装備品を展示し、防災に対する意識向上を促した。防災教育に参加した生徒からは、「身近なもので人を運ぶことができることを学べて非常に役に立ちました。災害派遣で自衛隊が頑張っている姿をよく見ます。これからも頑張ってください。」との声をいただいた。

佐賀募集案内所は近年、学校関係者から、防災教育の依頼が多く、嬉しい悲鳴を上げているが、「防災教育により一人でも多くの人命が救えるのであれば、全ての依頼を受ける。」としている。



新規採用予備自衛官に対する本部長訓示



予備自衛官等制度の説明



装備品（背のう）の説明



海上自衛隊佐世保基地で記念撮影



広報室長の防災講話



ロープワーク伝授